

2020年6月3日09:30 (日本時間) / 00:30 (協定世界時) まで公開禁止

# auじぶん銀行 日本サービス業PMI®

及び、auじぶん銀行 日本複合PMI®

## サービス業の事業活動、5月も大幅縮小

### 主な動向

新型コロナウイルス感染症の世界的拡大を受けて、生産高は歴史的な落ち込み

日本のサービス業の需要、さらに急減

2010年2月以来最大の勢いで雇用が減少

データ収集期間：2020年5月12～26日

最新のPMIデータによれば、12年を超える調査史上、新型コロナウイルス感染症拡大以前には見られなかった勢いで事業活動が低迷したことから、日本のサービス業は5月も風当たりが強かった。イベントの中止や店舗休業が相次ぎ、日本のサービス業の需要は5月も急減した。

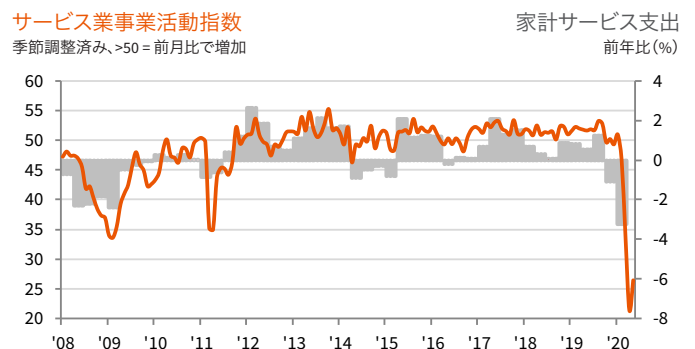
また、生産能力の余剰が増加し、業界の見通しが3か月連続でマイナス領域にとどまったということも影響し、企業は2010年2月以来最大のペースで雇用を削減した。

auじぶん銀行日本サービス業PMI®は、IHS Markitがサービス業約400社からの調査回答を基にまとめたものである。対象セクターには、消費者サービス(小売以外)、運輸、情報通信、金融、保険、不動産、ビジネスサービス等が含まれる。

主要指標はサービス業事業活動指数で、事業活動量が前月比でどう変化したかを示す。数値が50を超えれば全体として前月比で増加したことを、50を割り込めば減少したことを意味する。

5月、日本のサービス業の季節調整済み事業活動指数は、26.5となり、減少と増加の分かれ目となる50.0の水準を大きく下回り、サービス業の生産高がさらに減少したことを示した。指数は4月に過去最低だった21.5から増加したものの、2007年9月のデータ収集開始以来、依然として前代未聞の活動縮小であることを変わりはなかった。

調査から業界の実態を見る限り、店舗の休業やイベントの相次



出典：auじぶん銀行、IHS Markit、内閣府

ぐ中止、そして売上の不調が、直近の事業活動の落ち込みに強く影響した。4月と比較して、調査対象企業の実に半数以上で生産高が減少し、増加したと回答した企業はわずか6%だった。

最新の調査データは、新型コロナウイルス感染症の世界的拡大によって、需要がさらに大きく悪化したことを指摘した。4月と比較すれば減少幅はやや縮小したものの、過去最大の規模だったことには変わりない。新規輸出受注も大きく減少したものの、直近3か月の中では減少率が低水準だった。

需要にかかる圧力が弱まる中で、日本のサービス業での生産能力の余剰が顕著に増加している。必要生産量が低下したことで、企業によっては従業員の削減を実施した。最新の調査データは、2010年2月以来の大幅な雇用減であることを指摘している。

調査対象企業の日本のサービス業に対する今後12か月の業況見通しは否定的だ。同企業は、新型コロナウイルス感染症拡大の先行きを見通せない性質を背景に、多くの企業の間で景況感に警戒感を示していると指摘した。中には、しばらくの間、需要が大きく弱まった状況が続くと予測している企業もある。ただし、事業活動の再開を予測している企業もあることから、悲観的な見通しは2月からの数か月内で一番の弱まりとなった。

最後に、4月と比較して購買価格と製品価格の両方が下落したため、5月も価格圧力は低下したままとなった。調査から業界の実態を見る限り、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けて購買コスト、製品価格ともに下落している。

## auじぶん銀行 日本複合PMI®

## 経済活動、5月も大幅に縮小

複合指数は製造業とサービス業それぞれの指数を加重平均したものである。加重値は、GDP公式データに基づく製造業とサービス業の相対的規模を反映している。日本複合生産高指数は、製造業生産高指数とサービス業活動指数の加重平均である。

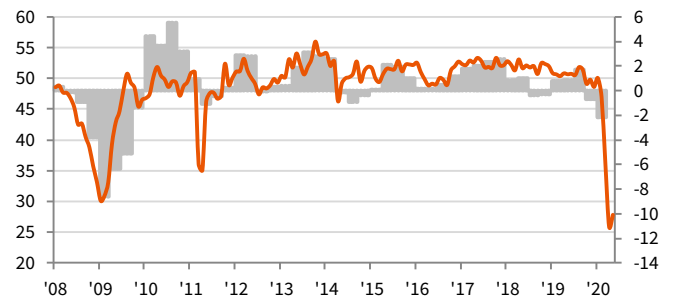
5月のauじぶん銀行日本複合生産高指数は「変化なし」を表す50.0の水準を大幅に下回って27.8を記録し、製造業とサービス業共に生産高が大幅に落ち込んだことを示した。主要指標は4月の25.8からわずかに上昇しただけで、新型コロナウイルス感染症拡大以前には調査史上前例のない最大の生産高落ち込みを示した。

業界別にみると、製造業の生産高が大きく落ち込んだのとは対称的に、サービス業の減少がわずかに和らいだが、製造業・サービス業共に調査史上最大の落ち込みとなった。

一方、民間セクターの新規受注数は2か月連続で大幅に落ち込み、雇用は2010年9月以来の勢いで減少した。

複合生産高指数

季節調整済み、&gt;50 = 前月比で増加

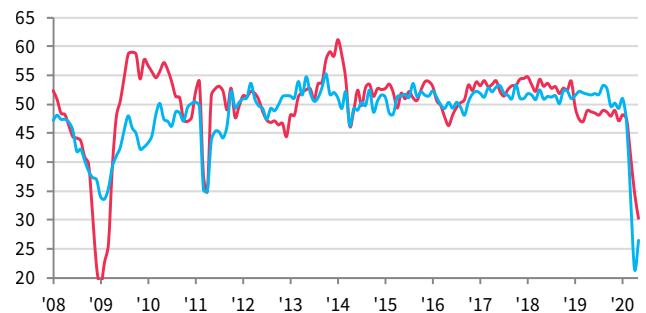
GDP  
前年比(%)

出典: auじぶん銀行、IHS Markit、内閣府

製造業生産高指数

サービス業事業活動指数

季節調整済み、&gt;50 = 前月比で増加



出典: auじぶん銀行、IHS Markit

## コメント

当調査をまとめたIHS Markitエコノミスト、Joe Hayesによる日本サービスPMI調査データに関するコメント。

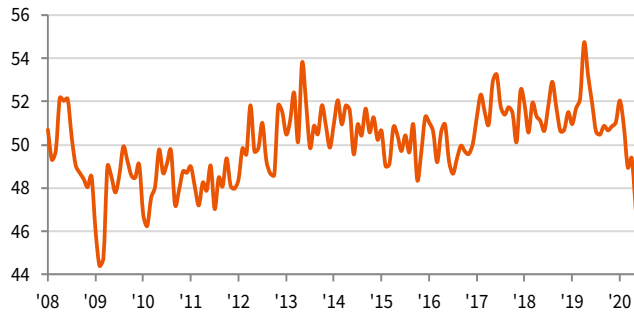
「5月は、日本政府が外出自粛を緩和し始めた一方で、最新の調査データは、新型コロナウイルスによる危機が起きる前には例を見ないほどの勢いで経済活動が落ち込んでいることを示した。

サービス業の事業活動は、店舗の休業が続き、イベントの中止が相次いだことで、4月とほぼ同程度の縮小となった。社会的距離の措置や、観光客の減少はサービス業にあきらかに深刻な影響を与えており、こうした要因が短中期的に続けば復興の速度や効果が制限されるとみられる。

5月の調査データだけでみると、複合PMI指数はGDPが年率で約10%も低下することを示唆している。さらに悪かった4月の数値に鑑みると、第2四半期のGDPへの影響は甚大になることがわかる。」

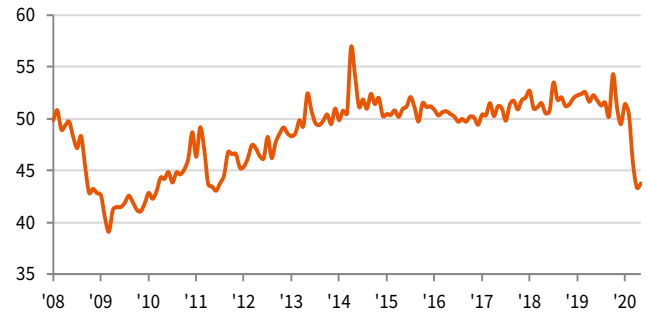
## サービス業雇用指数

季節調整済み、&gt;50 = 前月比で増加



## サービス単価指数

季節調整済み、&gt;50 = 前月比で上昇



## お問い合わせはこちらどうぞ

auじぶん銀行

[Grp-S-I-Room@jibunbank.co.jp](mailto:Grp-S-I-Room@jibunbank.co.jp)

Joe Hayes

エコノミスト

IHS Markit

電話: +44 1491 461 006

[joseph.hayes@ihsmarkit.com](mailto:joseph.hayes@ihsmarkit.com)

Bernard Aw

プリンシパル・エコノミスト

IHS Markit

電話: +65 6922 4226

[bernard.aw@ihsmarkit.com](mailto:bernard.aw@ihsmarkit.com)

Katherine Smith

パブリックリレーションズ

IHS Markit

T: +1-781-301-9311

[katherine.smith@ihsmarkit.com](mailto:katherine.smith@ihsmarkit.com)

## 調査方法

auじぶん銀行日本サービス業PMI®は、IHS Markitがサービス業約400社からの調査回答をもとにまとめている。対象セクターには消費者サービス(小売以外)、運輸、情報通信、金融、保険、不動産、ビジネスサービス等が含まれます。調査対象企業は、GDPへの貢献度に従い産業セクターおよび従業員数別に階層化されています。

調査回答は前月比での変化を示すもので、各月の後半に収集されます。これにもとづき、サブインデックスごとの拡散指数(ディフュージョン・インデックス)を算出します。各指数は「増加/上昇」と回答した企業の比率と、「同じ」と回答した企業の比率の半分の合計です。数値は0~100の間で変動し、50を超えれば前月比で全体として増加したことを、50を割り込めば全体として減少したことを意味します。そのうえで指数に季節調整が加えられます。

主要指数はサービス業事業活動指数です。これは、事業活動量の前月比での変化についての回答から算出する拡散指数(ディフュージョン・インデックス)です。サービス業事業活動指数は製造業の生産高指数に匹敵します。「サービス業PMI」と表現されることもありますが、製造業の主要指数のPMIと同列のものではありません。

複合生産高指数は、製造業生産高指数とサービス業事業活動指数の加重平均です。加重値は、GDP公式データに従った製造業とサービス業の相対的規模を反映したものとなっています。複合生産高指数は「複合PMI」と表現されることもありますが、製造業の主要指数のPMIと同列のものではありません。

基本的調査データは発表後に修正されることはありません。ただし季節調査要因は必要に応じて修正されることがあり、その場合は季節調整済みデータに影響が及びます。

2020年5月のデータ収集期間: 2020年5月12~26日。

PMI調査方法の詳細は、[economics@ihsmarkit.com](mailto:economics@ihsmarkit.com)へお問い合わせください。

## PMI(購買担当者指数)

購買担当者指数™(PMI)調査は現在、40を超える国々およびユーロ圏等主要地域で実施されています。世界で最も注目される景況調査として、各国中央銀行、金融市場、企業経営者の方々より、経済動向を知るための正確でユニークな最新月間指標としてご利用いただいております。詳しくは、[ihsmarkit.com/products/pmi.html](https://ihsmarkit.com/products/pmi.html)をご覧ください。

## 免責事項

ここに提供するデータの知的所有権はIHS Markitに帰属し、もしくは使用が許諾されています。当データのいかなる部分についても複製、配布、伝達またはその他の行為を含む無許可の使用は、IHS Markitから事前の承諾がない限り認められません。IHS Markitとauじぶん銀行は、当レポートの内容またはそこに含まれる情報(「データ」)、データ上のいかなる間違い、不正確な記述、脱落、遅延による、またはそれに関連した責任、義務、負担のいずれをも負うものでなく、またこれにもとづきとられたいかなる行為についても責任、義務、負担のいずれをも負いません。当データの使用によって生じるいかなる特殊、偶発的もしくは間接的損害についても、IHS Markitとauじぶん銀行は一切責任を負いかねますので予めご了承下さい。Purchasing Managers' Index™およびPMIはMarkit Economics Limitedの登録商標、もしくはMarkit Economics Limitedに使用が許諾されたものです。IHS MarkitはIHS Markit Ltd及び/又はその関連会社の登録商標です。

## auじぶん銀行日本PMIのスポンサーはauじぶん銀行株式会社です

auじぶん銀行は2008年にKDDIと三菱UFJ銀行の共同出資により設立されたネット専業銀行です。「手のひらにある銀行」として、口座・金融商品・決済などに関して、スマホユーザー視点でサービス展開をしております。キャッシュカードなしで入出金可能な「スマホATM」、為替相場の動きを予測する「AI外貨予測」、Amazon Alexaへの対応など、ユーザーエクスペリエンスを豊かにするために様々な取り組みを行っております。

## IHS Markitについて

IHS Markit(NYSE:INFO)は、世界の経済を促進する主要産業・市場のために必須情報・分析・ソリューションを提供するリーディングカンパニーです。次世代の情報・分析・ソリューションを企業、金融機関、各国政府に提供し、経営効率の改善および正しい情報にもとづいた意思決定のための洞察に役立てていただいております。企業・政府機関の顧客数は50,000を超え、ここにはFortune Global 500企業の80パーセントと世界の大手金融機関も含まれます。

IHS MarkitはIHS Markit Ltd及び/又はその関連会社の登録商標です。その他全ての社名及び製品名はその各々の所有者の商標である可能性がありますのでご注意ください。© 2020 IHS Markit Ltd. 禁無断転載。

IHS Markitのプレスリリースを受け取りたくない場合は、[katherine.smith@ihsmarkit.com](mailto:katherine.smith@ihsmarkit.com)へお知らせください。弊社のプライバシーポリシーは、[ここをクリック](#)してください。